|  |
| --- |
| ５　エスカレーターの利用について  （問24～問29） |

５．エスカレーターの利用について

|  |
| --- |
| 次にエスカレーターの利用についておたずねしました。  埼玉県議会令和３年２月定例会において「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例（以下「条例」という。）」が成立しました。施行日は、令和３年10月１日です。  条例では、エスカレーターの利用者の義務として「立ち止まった状態で利用しなければならない」と規定しています。 |

（１）「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度

◇「条例ができたことを知らない」が59.2％

|  |
| --- |
| 問24　あなたは、条例ができたことを知っていますか。（○は１つだけ） |

「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知については、「条例ができたことを知らない」（59.2％）が約６割となっている。

認知程度としては、「条例ができたことも利用者の義務が規定されていることも知っている」（21.0％）が２割強で、「条例ができたことは知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない」（17.3％）を上回っている。

【属性別比較】

1. 性別

性別による大きな差はみられないが、条例ができたことを知っているのは女性でやや多い。

1. 年代別

「条例ができたことも、利用者の義務が規定されていることも知っている」は50歳代（24.0％）で２割台半ばと最も高くなっている。「条例ができたことは知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない」は50歳代以上で２割前後となっている。一方、「条例ができたことを知らない」は40歳代以下の年代で６割台となっている。



○「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度・性別／年代別

1. 地域別

「条例ができたことを知らない」は秩父地域（70.0％）で７割と最も高く、さいたま地域（51.7%）で5割台前半と最も低くなっている。

1. 性・年代別

「条例ができたことは知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない」は、女性70歳以上（22.2％）で2割強と最も高く、女性30歳代（11.7％）で1割強と最も低くなっている。

1. 職業別

「条例ができたことも、利用者の義務が規定されていることも知っている」は無職（計）（24.6%）で２割台半ばと最も高く、「条例ができたことは知っているが、利用者の義務が規定されていることは知らない」も無職（計）（19.8％）で約２割と最も高く、他の職業と比べて大きく差がある。

1. ライフステージ別

「条例ができたことを知らない」は家族成長前期（69.8％）で約７割と最も高く、家族形成期（65.1％）と独身期（63.9％）でも６割台となっている。

○「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」の認知度・地域別

／性・年代別／職業別／ライフステージ別

（２）エスカレーターの利用実態

◇駅での利用は、『歩いて利用した（計）』が27.6％、『立ち止まって利用した（計）』が51.0％

|  |
| --- |
| 問25　あなたは、最近１年間、エスカレーターを利用する際、歩いて利用しましたか。それとも立ち止まって利用しましたか。エスカレーターが設置されている次の（１）から（４）までの施設それぞれについて、近いものを選んでください。  （各施設それぞれ○は１つずつ） |

※「利用していない」の回答割合を含めた全体グラフ

|  |
| --- |
| エスカレーターの施設別の利用状況については、施設そのものの利用実態（割合）で上記のグラフにあるように大きな差異があるため、「利用していない」と「無回答」を除いたものをｎ数（回答者）として、利用形態を比較した。 |



**（１）駅**

駅での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」（34.4％）で3割台半ばと最も高く、「どちらかというと立ち止まって利用した」（30.5％）を合わせた『立ち止まって利用した（計）』（64.9％）は6割台半ばとなっている。一方で、「日常的に歩いて利用した」（12.8％）と「どちらかというと歩いて利用した」（22.3％）を合わせた『歩いて利用した（計）』（35.1％）は3割台半ばとなっている。

【属性別比較】

1. 性別

『立ち止まって利用した（計）』は女性（67.8％）の方が男性（60.7％）よりも7.1ポイント高くなっている。

1. 年代別

『立ち止まって利用した（計）』は70歳以上（83.9％）で8割強と最も高く、年代が下がるほどおおむね割合が低くなり、10歳代・20歳代（48.1％）で5割弱と最も低くなっている。

○「（１）駅」・性別／年代別



1. 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は北部地域（70.0％）で7割と最も高く、さいたま地域（58.5％）で6割弱と最も低くなっている。

※秩父地域（ｎ＝21）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

1. 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は女性70歳以上（85.7％）で8割台半ばと最も高く、男性10歳代・20歳代（40.7％）で4割台前半と最も低くなっている。

1. 職業別

『立ち止まって利用した（計）』は無職（計）（78.1％）で8割弱と最も高くなっている。

1. ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（80.3％）で8割を超えて最も高くなっている。

○「（１）駅」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別



**（２）百貨店や大規模商業施設などの小売店舗**

百貨店や大規模商業施設などの小売店舗での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」（52.4％）で5割強と最も高く、「どちらかというと立ち止まって利用した」（32.3％）を合わせた『立ち止まって利用した（計）』（84.6％）は8割台半ばとなっている。一方で、「日常的に歩いて利用した」（5.4％）と「どちらかというと歩いて利用した」（10.0％）を合わせた『歩いて利用した（計）』（15.4％）は1割台半ばとなっている。

【属性別比較】

1. 性別

『立ち止まって利用した（計）』は女性（87.9％）の方が男性（79.9％）よりも8.0ポイント高くなっている。

1. 年代別

『立ち止まって利用した（計）』は70歳以上（91.9％）で9割強と最も高く、年代が下がるほどおおむね割合が低くなり、10歳代・20歳代（77.4％）で7割台後半と最も低くなっている。

○「（２）百貨店や大規模商業施設などの小売店舗」・性別／年代別



1. 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は利根地域（89.4％）で約9割と最も高く、秩父地域（80.6％）で8割台前半と最も低くなっている。

1. 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は女性70歳以上（93.8％）で9割強と最も高く、男性10歳代・20歳代（64.2％）で6割台半ばと最も低くなっている。

1. 職業別

『立ち止まって利用した（計）』は無職（計）（89.5％）で約9割と最も高くなっている。

1. ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（89.9％）で約9割と最も高くなっている。

○「（２）百貨店や大規模商業施設などの小売店舗」・地域別／性・年代別／職業別

／ライフステージ別

**（３）ホテルなどの宿泊施設**

ホテルなどの宿泊施設での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」（57.3％）で５割台半ばを超えて最も高く、「どちらかというと立ち止まって利用した」（30.7％）を合わせた『立ち止まって利用した（計）』（88.0％）は９割弱となっている。一方で、「日常的に歩いて利用した」（6.5％）と「どちらかというと歩いて利用した」（5.5％）を合わせた『歩いて利用した（計）』（12.0％）は1割強となっている。

【属性別比較】

1. 性別

『立ち止まって利用した（計）』は女性（92.1％）の方が男性（83.0％）よりも9.1ポイント高くなっている。

1. 年代別

『立ち止まって利用した（計）』は70歳以上（93.9％）で9割強と最も高く、40歳代（81.1％）で8割強と最も低くなっている。

○「（３）ホテルなどの宿泊施設」・性別／年代別



1. 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は利根地域（91.6％）で9割強と最も高く、北部地域（83.7％）で8割強と最も低くなっている。

※秩父地域（ｎ＝18）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

1. 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は女性70歳以上（94.8％）で9割台半ばと最も高く、男性10歳代・20歳代（68.8％）で7割弱と最も低くなっている。

1. 職業別

『立ち止まって利用した（計）』は無職（計）（92.2％）で9割強と最も高くなっている。

1. ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（92.0％）で9割強と最も高くなっている。

○「（３）ホテルなどの宿泊施設」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別



**（４）行政機関の庁舎や図書館などの公共施設**

行政機関の庁舎や図書館などの公共施設での利用状況は「日常的に立ち止まって利用した」（54.9％）で5割台半ばと最も高く、「どちらかというと立ち止まって利用した」（31.5％）を合わせた『立ち止まって利用した（計）』（86.4％）は8割台半ばを超えている。一方で、「日常的に歩いて利用した」（6.7％）と「どちらかというと歩いて利用した」（6.9％）を合わせた『歩いて利用した（計）』（13.6％）は1割強となっている。

【属性別比較】

1. 性別

『立ち止まって利用した（計）』は女性（89.8％）の方が男性（82.2％）よりも7.6ポイント高くなっている。

1. 年代別

『立ち止まって利用した（計）』は70歳以上（92.0％）で9割強と最も高く、10歳代・20歳代（78.7％）で7割台後半と最も低くなっている。

○「（４）行政機関の庁舎や図書館などの公共施設」・性別／年代別



1. 地域別

『立ち止まって利用した（計）』は利根地域（90.7％）で9割を超えて最も高く、北部地域（81.1％）で8割強と最も低くなっている。

※秩父地域（ｎ＝16）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

1. 性・年代別

『立ち止まって利用した（計）』は男性70歳以上と女性60歳代（各92.5％）で9割強と最も高く、男性10歳代・20歳代（65.5％）で6割台半ばと最も低くなっている。

1. 職業別

『歩いて利用した（計）』は雇用者（計）（16.8％）で１割台半ばを超えて最も高くなっている。

1. ライフステージ別

『立ち止まって利用した（計）』は高齢期（90.9％）で9割を超えて最も高くなっている。

○「（４）行政機関の庁舎や図書館などの公共施設」・地域別／性・年代別／職業別

／ライフステージ別

（３）エスカレーターを歩いて利用した理由

◇「急いでいたから」が54.6％

|  |
| --- |
| 問26　エスカレーターを歩いて利用したことのある方にお伺いします。  あなたがエスカレーターを歩いて利用した理由は何ですか。（○はいくつでも） |



エスカレーターを歩いて利用した理由は、「急いでいたから」（54.6％）が５割台半ばと最も高く、以下、「前後の利用者が歩いているためやむを得なく」（36.5％）、「エスカレーターに乗っている時間がもったいないと思うので短縮したいから」（27.7％）、「早く人混みを抜けたいから」（20.5％）、「みんなが歩いているので何となく」（19.3％）の順となっている。

【属性別比較】

1. 地域別

「急いでいたから」はさいたま地域（56.3％）で５割台半ばを超えて高くなっている。「前後の利用者が歩いているためやむを得なく」は利根地域（48.2％）で５割弱と最も高くなっている。「エスカレーターに乗っている時間がもったいないと思うので短縮したいから」は川越比企地域（35.7％）で３割台半ばと最も高くなっている。

※秩父地域（ｎ＝19）はサンプル数が30未満のため分析の対象から除外している。

1. 性別

「急いでいたから」は女性（59.1％）の方が男性（48.8％）よりも10.3ポイント高く、「前後の利用者が歩いているためやむを得なく」でも女性（38.9％）の方が男性（32.8％）よりも6.1ポイント高くなっている。一方、「エスカレーターに乗っている時間がもったいないと思うので短縮したいから」は男性（31.2％）の方が女性（25.3％）よりも5.9ポイント高く、「早く人混みを抜けたいから」でも男性（22.7％）の方が女性（18.9％）よりも3.8ポイント高くなっている。

1. 年代別

「急いでいたから」と「エスカレーターに乗っている時間がもったいないと思うので短縮したいから」は年代が下がるほど割合が高くなる傾向にあり、10歳代・20歳代（64.7％・37.9％）で最も高くなっている。一方、「前後の利用者が歩いているためやむを得なく」は年代が上がるほど割合が高くなる傾向にあり、70歳代（45.3％）で最も高くなっている。

1. 性・年代別

「急いでいたから」は女性10歳代・20歳代（75.2％）で7割台半ばと最も高くなっている。「前後の利用者が歩いているためやむを得なく」は、女性70歳以上（52.6％）で５割強と最も高くなっている。「エスカレーターに乗っている時間がもったいないと思うので短縮したいから」は男性10歳代・20歳代（43.9％）で４割強と最も高くなっている。

1. 職業別

「急いでいたから」は雇用者（計）（56.9％）で５割台半ばを超えて最も高くなっている。「エスカレーターに乗っている時間がもったいないと思うので短縮したいから」と「早く人混みを抜けたいから」でも雇用者（計）（31.0％・23.8％）が最も高くなっている。「前後の利用者が歩いているためやむを得なく」は無職（計）（41.1％）で４割強と最も高くなっている。

1. ライフステージ別

「急いでいたから」は家族形成期（69.0％）で約７割と最も高くなっている。「前後の利用者が歩いているためやむを得なく」は高齢期（45.9％）で４割台半ばと最も高くなっている。「エスカレーターに乗っている時間がもったいないと思うので短縮したいから」は家族形成期（39.8％）で約４割と最も高くなっている。

○エスカレーターを歩いて利用した理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別  
／ライフステージ別



（４）エスカレーターの歩行利用を原因とする事故やトラブル等の経験

◇「立ち止まって利用していた際、歩行での利用者に対し不快な思いをしたことがある」が25.5％

|  |
| --- |
| 問27　あなたは、エスカレーターを利用した際、歩行利用を原因として、事故やトラブルに遭ったり、不快な思いをしたりしたことはありますか。（○はいくつでも） |



エスカレーターの歩行利用を原因とする事故やトラブル等の経験については、「歩行利用を原因として、事故やトラブルに遭ったり、不快な思いをしたことはない」（58.4％）は６割弱となっている。

エスカレーターの歩行利用を原因とする事故やトラブル等の内容としては、「立ち止まって利用していた際、歩行での利用者に対し不快な思いをしたことがある」（25.5％）が２割台半ばで最も高く、次いで「歩いて利用した際、他の利用者に対し不快な思いをしたことがある」（6.0％）などとなっている。

【属性別比較】

1. 地域別

「立ち止まって利用していた際、歩行での利用者に対し不快な思いをしたことがある」は秩父地域（32.5％）で3割強と最も高く、次いで利根地域（29.0％）となっている。

1. 性別

性別では回答分布に大きな差はみられない。

1. 年代別

「立ち止まって利用していた際、歩行での利用者に対し不快な思いをしたことがある」は60歳代（30.6％）で3割を超えて最も高く、次いで70歳以上（29.8％）となっている。

1. 性・年代別

「立ち止まって利用していた際、歩行での利用者に対し不快な思いをしたことがある」は男性70歳以上（32.5％）で3割強と最も高く、次いで女性60歳代（31.4％）となっている。

1. 職業別

職業別では回答分布に大きな差はみられない。

1. ライフステージ別

「立ち止まって利用していた際、歩行での利用者に対し不快な思いをしたことがある」は高齢期（32.7％）で3割強と最も高く、次いで、家族成熟期（30.2％）となっている。

○エスカレーターの歩行利用を原因とする事故やトラブル等の経験・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

（５）エスカレーターの歩行利用について感じること

◇「段差を登れず、右手でしか手すりにつかまれない利用者など社会的弱者に対する配慮が欠ける行動だ」、「事故につながる恐れがあり危険だ」については、『そう思う（計）』が６割以上

|  |
| --- |
| 問28　あなたは、エスカレーターを歩いて利用することについて、どのように感じていますか。次の（１）から（６）までのそれぞれの項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。（各項目それぞれ○は１つずつ） |



※「(3)社会的弱者に対する配慮が欠ける行動だ」は、「段差を登れず、右手でしか手すりにつかまれない利用者など社会的弱者に

対する配慮が欠ける行動だ」を指す。

【歩行利用に対する否定的な項目（１）～（３）】

『そう思う（計）』は「（３）段差を登れず、右手でしか手すりにつかまれない利用者など社会的弱者に対する配慮が欠ける行動だ」（64.5％）が6割台半ばで最も高くなっている。次いで、「（１）事故につながる恐れがあり危険だ」（63.9％）、「（２）歩いて利用する人は階段を利用すべきだ」（50.1％）となっている。

【歩行利用に対する容認的な項目（４）～（６）】

『そう思わない（計）』は「（６）輸送効率を上げるためには歩くことも必要だ」（45.0％）が4割台半ばと最も高くなっている。次いで、「（５）他の利用者に迷惑をかけなければ問題ない」（34.3％）、「（４）列車の発車時刻が迫っているなど、理由によってはやむを得ない」（25.9％）となっている。

**（１）事故につながる恐れがあり危険だ**

『そう思う（計）』（63.9％）は６割強となっている。『そう思わない（計）』（15.9％）が１割台半ば、「どちらとも言えない」（15.7％）も１割台半ばとなっている。

【属性別比較】

1. 性別

『そう思う（計）』は女性（68.7％）の方が男性（58.7％）よりも10ポイント高くなっている。

1. 年代別

『そう思う（計）』は70歳以上（70.8％）で７割を超えて最も高く、10歳代・20歳代（59.6％）が約6割で最も低くなっている。

○「（１）事故につながる恐れがあり危険だ」・性別／年代別



1. 地域別

『そう思う（計）』は県央地域（70.2％）で７割を超えて最も高く、南西部地域（59.5％）で約６割と最も低くなっている。

1. 性・年代別

『そう思う（計）』は男性70歳以上（72.0％）と女性60歳代（72.2％）で７割強と高くなっている。

1. 職業別

『そう思う（計）』は無職（計）（71.2％）で7割強と最も高くなっている。

1. ライフステージ別

『そう思う（計）』は高齢期（72.4％）で7割強と最も高くなっている。

○「（１）事故につながる恐れがあり危険だ」・地域別／性・年代別／職業別

／ライフステージ別

**（２）歩いて利用する人は階段を利用すべきだ**

『そう思う（計）』（50.1％）は5割を超えている。『そう思わない（計）』（22.0％）が2割強、「どちらとも言えない」（23.4％）が2割強となっている。

【属性別比較】

1. 性別

『そう思う（計）』は女性（53.4％）の方が男性（46.6％）よりも6.8ポイント高くなっている。

1. 年代別

『そう思う（計）』は70歳以上（59.7％）で約６割と最も高く、年代が下がるほど割合が低くなっており、10歳代・20歳代（38.7％）で4割弱と最も低くなっている。

○「（２）歩いて利用する人は階段を利用すべきだ」・性別／年代別



1. 地域別

『そう思う（計）』は西部地域（54.5％）と川越比企地域（54.3％）で５割台半ばと高くなっている。

1. 性・年代別

『そう思う（計）』は女性70歳以上（61.6％）で６割強と最も高く、男性30歳代（34.2％）で３割台半ばと最も低くなっている。

1. 職業別

『そう思う（計）』は無職（計）（57.2％）で５割台半ばを超えて最も高くなっている。

1. ライフステージ別

『そう思う（計）』は高齢期（57.5％）で５割台半ばを超えて最も高くなっている。

○「（２）歩いて利用する人は階段を利用すべきだ」・地域別／性・年代別／職業別

／ライフステージ別

**（３）段差を登れず、右手でしか手すりにつかまれない利用者など社会的弱者に対する配慮が欠ける行動だ**

『そう思う（計）』（64.5％）は６割台半ばとなっている。『そう思わない（計）』（13.0％）が１割強、「どちらとも言えない」（17.2％）が１割台半ばを超えている。

【属性別比較】

1. 性別

『そう思う（計）』は女性（68.0％）の方が男性（61.5％）よりも6.5ポイント高くなっている。

1. 年代別

『そう思う（計）』は60歳代（70.3％）で７割を超えて最も高く、10歳代・20歳代（52.8％）で5割強と最も低くなっている。

○「（３）段差を登れず、右手でしか手すりにつかまれない利用者など社会的弱者に対する配慮が欠ける行動だ」・性別／年代別



1. 地域別

『そう思う（計）』は南部地域（69.0％）で約７割と最も高く、秩父地域（60.0％）で６割と最も低くなっている。

1. 性・年代別

『そう思う（計）』は女性60歳代（74.5％）で7割台半ばと最も高く、男性30歳代（50.5％）で5割台前半と最も低くなっている。

1. 職業別

『そう思う（計）』は無職（計）（69.6％）で約7割と最も高くなっている。

1. ライフステージ別

『そう思う（計）』は高齢期（73.6％）で７割強と最も高くなっている。

○「（３）段差を登れず、右手でしか手すりにつかまれない利用者など社会的弱者に対する配慮が欠ける行動だ」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

**（４）列車の発車時刻が迫っているなど、理由によってはやむを得ない**

『そう思わない（計）』（25.9％）は2割台半ばで、『そう思う（計）』（45.5％）より19.6ポイント低くなっている。「どちらとも言えない」（23.5％）は２割強となっている。

【属性別比較】

1. 性別

『そう思わない（計）』は男性（28.3％）の方が女性（24.8％）よりも3.5ポイント高くなっている。

1. 年代別

『そう思わない（計）』は50歳代（28.8％）で3割弱と最も高く、10歳代・20歳代（14.9％）で1割台半ばと最も低くなっている。

○「（４）列車の発車時刻が迫っているなど、理由によってはやむを得ない」・性別  
／年代別



1. 地域別

『そう思わない（計）』は秩父地域（30.0％）で3割と最も高く、東部地域（22.9％）で2割強と最も低くなっている。

1. 性・年代別

『そう思わない（計）』は男性40歳代（33.5％）で3割強と最も高く、女性10歳代・20歳代（11.7％）で1割強と最も低くなっている。

1. 職業別

『そう思わない（計）』は無職（計）（27.3％）で2割台半ばを超えて最も高くなっている。

1. ライフステージ別

『そう思わない（計）』は家族成熟期（31.7％）で3割強と最も高くなっている。

○「（４）列車の発車時刻が迫っているなど、理由によってはやむを得ない」・地域別  
／性・年代別／職業別／ライフステージ別

**（５）他の利用者に迷惑をかけなければ問題ない**

『そう思わない（計）』（34.3％）は3割台半ばで、『そう思う（計）』（37.0％）より2.7ポイント低くなっている。「どちらとも言えない」（23.8％）は２割強となっている。

【属性別比較】

1. 性別

『そう思わない（計）』は男性（35.0％）の方が女性（34.4％）よりもわずかに0.6ポイント高くなっている。

1. 年代別

『そう思わない（計）』は70歳以上（44.5％）で4割台半ばと最も高く、年代が下がるほど割合が低くなる傾向にあり、10歳代・20歳代（16.0％）で1割台後半と最も低くなっている。

○「（５）他の利用者に迷惑をかけなければ問題ない」・性別／年代別



1. 地域別

『そう思わない（計）』は北部地域（37.9％）、さいたま地域と利根地域（各37.6％）で3割台半ばを超えて高く、川越比企地域と秩父地域（各30.0％）で3割と低くなっている。

1. 性・年代別

『そう思わない（計）』は男性70歳以上（48.6％）で5割弱と最も高く、女性10歳代・20歳代（13.0％）で1割強と最も低くなっている。

1. 職業別

『そう思わない（計）』は無職（計）（40.5％）で４割を超えて最も高くなっている。

1. ライフステージ別

『そう思わない（計）』は高齢期（46.3％）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

○「（５）他の利用者に迷惑をかけなければ問題ない」・地域別／性・年代別／職業別

／ライフステージ別

**（６）輸送効率を上げるためには歩くことも必要だ**

『そう思わない（計）』（45.0％）は4割台半ばで、『そう思う（計）』（24.4％）より20.6ポイント高くなっている。「どちらとも言えない」（25.4％）は２割台半ばとなっている。

【属性別比較】

1. 性別

『そう思わない（計）』は性別での回答割合に大きな差はみられない。

1. 年代別

『そう思わない（計）』は70歳以上（52.9％）で5割強と最も高く、年代が下がるほど割合が低くなる傾向にあり、10歳代・20歳代（27.3％）で2割台後半と最も低くなっている。

○「（６）輸送効率を上げるためには歩くことも必要だ」・性別／年代別



1. 地域別

『そう思わない（計）』は北部地域（50.2％）で５割を超えて最も高く、秩父地域（37.5％）で3割台後半と最も低くなっている。

1. 性・年代別

『そう思わない（計）』は男性70歳以上（60.1％）で6割を超えて最も高く、女性10歳代・20歳代（24.1％）で2割台半ばと最も低くなっている。

1. 職業別

『そう思わない（計）』は無職（計）（50.4％）で5割を超えて最も高くなっている。

1. ライフステージ別

『そう思わない（計）』は高齢期（57.8％）で5割台半ばを超えて最も高くなっている。

○「（６）輸送効率を上げるためには歩くことも必要だ」・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

（６）エスカレーターの立ち止まり利用を浸透させるための効果的な取組

◇「エスカレーター乗り口部での音声案内」が56.3％

|  |
| --- |
| 問29　あなたは、エスカレーターの立ち止まった状態での利用を浸透させるために、どのような取組が効果的だと思いますか。次の中から３つまで選んでください。  （○は３つまで） |



エスカレーターの立ち止まり利用を浸透させるための効果的な取組は、「エスカレーター乗り口部での音声案内」（56.3％）が５割台半ばを超えて最も高く、次いで、「エスカレーターのステップや手すり等への注意喚起の表示」（42.5％）、「学校での教育・啓発」（34.1％）、「自治体広報紙やテレビＣＭなど広報媒体を活用した注意喚起」（29.3％）、「エスカレーター周辺への注意喚起ポスターの掲示」（27.9％）、「エスカレーター乗り口部での声掛け」（23.0％）などとなっている。

【属性別比較】

1. 地域別

「エスカレーター乗り口部での音声案内」と「エスカレーターのステップや手すり等への注意喚起の表示」は県央地域（62.8％・48.2％）で最も高くなっている。

1. 性別

「エスカレーター乗り口部での音声案内」、「学校での教育・啓発」、「自治体広報紙やテレビＣＭなど広報媒体を活用した注意喚起」は女性の方が男性よりも4ポイント以上高くなっている。一方、「エスカレーター周辺への注意喚起ポスターの掲示」は男性（30.8％）の方が女性（26.8％）よりも4.0ポイント高くなっている。

1. 年代別

「エスカレーター乗り口部での音声案内」は70歳以上（64.3％）で６割台半ばと最も高く、おおむね年代が下がるほど割合が低くなり、10歳代・20歳代（44.3％）で4割台半ばと最も低くなっている。「学校での教育・啓発」は30歳代（43.4％）で4割強と最も高くなっている。

1. 性・年代別

「エスカレーター乗り口部での音声案内」は男性70歳以上（67.1％）で６割台半ばを超えて最も高く、「エスカレーターのステップや手すり等への注意喚起の表示」でも男性70歳以上（47.9％）で4割台半ばを超えて最も高くなっている。

1. 職業別

「エスカレーター乗り口部での音声案内」は自営業・家族従業（計）（62.4％）で６割強と最も高くなっている。

1. ライフステージ別

「エスカレーター乗り口部での音声案内」と「エスカレーターのステップや手すり等への注意喚起の表示」は高齢期（68.0％・47.6％）で最も高くなっている。

○エスカレーターの立ち止まり利用を浸透させるための効果的な取組・地域別／性別

／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

